



顧客からの要望で、CMSへのアクセス認証に二要素認証を導入



設立 1985年8月

資本金 11億53百万円

URL <https://www.tni.co.jp/>

株式会社トランスネットは、運輸・交通、旅行・観光、情報・通信など公共性の高い分野を中心に情報システム・ネットワーク・ソリューションを提供するシステムインテグレーター。必須インフラとしての情報通信技術を通じて、「システム開発」「システム運用」「ネットワーク運用」の3つの技術資産をベースに事業を展開しています。今回、自社サービスのCMS(コンテンツマネジメントシステム)にグローバルサインのマネージドPKI Lite byGMOを導入した経緯などを、システム事業部 ネットワークシステム課長代理 高田雄一様にお伺いしました。

一 クライアント証明書を選択した理由をお聞かせください。

高田様 当社のサービスをご利用いただいているユーザから、端末を限定したアクセス認証強化の要望があったことが理由です。ユーザID・パスワードだけでは、第三者に流出または盗まれて不正アクセスされる可能性が高いため、二要素認証を取り入れることにしました。そこで、ユーザID・パスワードを利用した従来からの認証と相性の良いクライアント証明書を利用することにしたという経緯です。

一 弊社サービスをどのようにご利用いただいていますか？

高田様 CMSへのアクセス認証をする際の認証時に、ユーザID・パスワードと組み合わせて二要素認証を実現しています。当社がクライアント証明書の発行・失効などといった管理を行っており、ユーザ側に追加の負担をかけることもなく利用していただいております。



株式会社トランスネット
システム事業部 ネットワークシステム
課長代理 高田 雄一様

一 数ある認証局の中からGMOグローバルサインのマネージドPKIをお選びいただいた理由がございましたらお聞かせください。

高田様 SSLサーバ証明書にGMOグローバルサインのサービスを利用しており、以前よりパートナー契約を結んでいました。そこで、アクセス認証強化にどのような対策をしたら良いのか、どのような方法があるのかを担当営業の方に相談したのがきっかけでした。同様のサービスを提供している他社認証局の場合、顧客提案時のコンサルティング料や認証局構築費用、維持手数料などコストがかさむ場合があるため、シンプルな料金体系でこちらのニーズに沿った提案をしてもらえたことから導入を決定しました。

一 技術的なお話ですが、システム上で具体的にはどのようにクライアント証明書は導入されているのでしょうか。

高田様 非常にシンプルな利用の仕方をしています。社内ネットワークの一部の端末、社外ユーザの一部の端末に証明書を配布しており、端末識別することでCMSへのアクセスに運用ルールを定めています。

一 弊社サービスを利用して初めての感想をお聞かせください。

高田様 クライアント証明書の発行や失効がGMOグローバルサインの提供している管理画面上から簡単に行えることが便利だと感じています。目的であった「特定端末のみの運用ルール」に関して、物理的に厳守できることに満足しています。

 **GlobalSign** by **GMO** **GMOグローバルサイン株式会社**

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス

TEL：03-4545-1800（受付時間：平日10:00～18:00）

グローバルサイン

検索

<https://jp.globalsign.com/>